

現代写真研究所 暗室専科カリキュラム (6月～8月)

6月6日 (火)

- オリエンテーション
 - *ネガチェック (定着・水洗の不足など)
 - *暗室作業場の注意点 プリントは各自のペーパーをおもちください。

6月20日 (火)

- オリエンタルのバライタ紙 (ニューシーガルVC-FBIIIAdvance) を用いてのプリント
現像液、パピトールとオリトーン (専用液) の比較。
 - *現像液の温度変化による比較 (20℃～30℃)
 - *既定のプリント後は、各自のペーパー可

7月4日 (火)

- 全倍プリントの候補作を選ぶ
 - *これまでのプリントの中から、候補作を多めに 各自プリント

7月18日 (火)

- 全倍の候補作を大四つで仕上げる (ファインプリント)
 - *オリエンタルのバライタ印画紙限定 (現像液オリトーン使用予定)

8月6日 (日) & 8月7日 (月) 日程が変更になりました

- 全倍プリント

一枚に2時間を見込んでいます。2か所での引き延ばしを想定しても2時間に二人。水洗は全作業終了後から、45分かかります。通常の授業時間内では無理なので、日程も含めてご相談させてください。

私(五味)の考えは、連続した二日間の初日に全倍作業準備と、2人、翌日の午前から3コマあれば、6人は可能かと。

なお、別途パネル張りの作業が半日ほど必要になります。

■今期は、各自1枚全倍伸ばしを体験していただきます。試しも含めて、1枚あたり6,000円とパネル代(約1300円)の実費がかかります。強制ではありませんが、現研で引き伸ばせる最大プリントを意識した暗室技術を身につけることを目標にします。全倍プリントをしない方でも、プリント作業の補助をしながら、ともに体験していただけると嬉しいです。